

【表紙】	
【提出書類】	大量保有報告書
【根拠条文】	法第27条の23第1項
【提出先】	近畿財務局長
【氏名又は名称】	徳原 玖哉
【住所又は本店所在地】	大阪府大阪市北区
【報告義務発生日】	2025年3月28日
【提出日】	2025年3月31日
【提出者及び共同保有者の総数（名）】	1
【提出形態】	その他
【変更報告書提出事由】	

## 第1【発行者に関する事項】

発行者の名称	株式会社ZenmuTech
証券コード	338A
上場・店頭の別	上場
上場金融商品取引所	東京証券取引所

## 第2【提出者に関する事項】

### 1【提出者（大量保有者） / 1】

#### (1)【提出者の概要】

##### 【提出者（大量保有者）】

個人・法人の別	個人
氏名又は名称	徳原 玖哉
住所又は本店所在地	大阪府大阪市北区
旧氏名又は名称	
旧住所又は本店所在地	

##### 【個人の場合】

生年月日	
職業	個人投資家
勤務先名称	
勤務先住所	

##### 【法人の場合】

設立年月日	
代表者氏名	
代表者役職	
事業内容	

##### 【事務上の連絡先】

事務上の連絡先及び担当者名	徳原 玖哉
電話番号	080-5630-9117

(2) 【保有目的】

純投資

昨今、ハッカーによる情報流出が社会問題になるなど、企業におけるセキュリティの重要性は益々増している時代に突入してきている。生成AIなどのAIの進歩は人類を豊かにする良い面の他に、ハッキングの敷居が下がるなどの、問題も増えてくるだろう。そのような社会情勢の中、株式会社ZenmuTechのセキュリティ技術はデータが発生した時点で無意味化する点において、ハッキングという行為そのものの抑止力となる可能性を秘めている独自の技術であると考えられる。ライセンス数もここ2年ほどで大きく伸びており、そのセキュリティ技術は今の時代に必要であると思われる。将来的に考えられる世界展開や日本企業への株式会社ZenmuTechのセキュリティソリューションの拡大、セキュリティにおけるオンリーワン技術は、成長性が高く将来性も高い会社と判断。現在の株価は割安との結論に至り、今回投資をした。

(3) 【重要提案行為等】

(4) 【上記提出者の保有株券等の内訳】

【保有株券等の数】

	法第27条の23 第3項本文	法第27条の23 第3項第1号	法第27条の23 第3項第2号
株券又は投資証券等(株・口)	90,300		
新株予約権証券又は新投資口予約権証券等(株・口)	A	-	H
新株予約権付社債券(株)	B	-	I
対象有価証券カバードワラント	C		J
株券預託証券			
株券関連預託証券	D		K
株券信託受益証券			
株券関連信託受益証券	E		L
対象有価証券償還社債	F		M
他社株等転換株券	G		N
合計(株・口)	O 90,300	P	Q
信用取引により譲渡したことにより控除する株券等の数	R		
共同保有者間で引渡請求権等の権利が存在するものとして控除する株券等の数	S		
保有株券等の数(総数) (O+P+Q-R-S)	T		90,300

保有潜在株券等の数 (A+B+C+D+E+F+G+H+I+J+K+L+M+N)	U
--	---

【株券等保有割合】

発行済株式等総数(株・口) (2025年3月31日現在)	V	1,312,800
上記提出者の株券等保有割合(%) (T/(U+V) × 100)		6.88
直前の報告書に記載された 株券等保有割合(%)		

(5) 【当該株券等の発行者の発行する株券等に関する最近60日間の取得又は処分の状況】

年月日	株券等の種類	数量	割合	市場内外取引の別	取得又は処分の別	単価
2025年3月28日	普通株式	90,300	6.88	市場内	取得	

(6) 【当該株券等に関する担保契約等重要な契約】

--

(7) 【保有株券等の取得資金】

【取得資金の内訳】

自己資金額(W)(千円)	471,095
借入金額計(X)(千円)	
その他金額計(Y)(千円)	
上記(Y)の内訳	
取得資金合計(千円)(W+X+Y)	471,095

【借入金の内訳】

名称(支店名)	業種	代表者氏名	所在地	借入目的	金額(千円)

【借入先の名称等】

名称(支店名)	代表者氏名	所在地